

## 初心者から上級者まで、幅広いプレイヤー向けのハイ・パフォーマンス・モデル BSC(プラス・サウンド・クリエーション) TR-106S「ニューヨーク」

ルクセンブルグ在住の日本人デザイナー、Tomomi Katoが主宰するトランペット・ブランドBSC。経験により培われた最新の音響物理学を融合し、高いクオリティを誇る楽器製作は、今や多くのミュージシャンに認められているメーカーだ。マーカス・プリンタップらトップ・ミュージシャンも愛用する同ブランドから、今回登場したTR-106Sを、角田健一ビッグバンドなどで活躍する田中哲也が試奏した。

BSCのトランペットは今回初めて吹きましたが、まず手に取って感じたことは、楽器自体がしっかりと作られているということ。ネーミングやそのスタイルからわかるとおり、ヴィンテージ・バックを意識したモデルです。僕はふだんビッグバンドでリードを吹く機会が多いのですが、通常プレイしている楽器とは対極的な楽器です。どちらかというよりリード・プレイヤー向きというより

は、コンボなどでのアドリブ・プレイヤー、ソリストなどに向いているでしょう。

この楽器の特徴を見ていくと、ピストン・ワークは、がっしりとしていて、とても安定しています。指のフィット感も良く、パーツも良いものを使用しているのがわかります。それから小さめのベルは、朝顔の広がり方が早く、そのため音色はどちらかという直線的ではなく、太く

立ち上がりがかバリッとしていて、反応がよくアタックのある楽器—— 田中哲也

丸味を帯びています。また、音への影響を考えて作られているという指掛けも、このブランドならではの工夫が凝らされていて特徴があります。価格は23万円台ですか？ この完成度でこの価格でしたらコストパフォーマンスの高いモデルと言えるでしょう。

吹いたところ、音程もとてもしっかりしています、パッチリです。そしてレスポンスがとても速い！ 立ち上がりがかバリッとしていて反応がよくアタックがあります。特に下の音の立ち上がりがいいですし、またダブル・ハイCも良く当たります。音



田中哲也(角田健一ビッグバンド 他)

の輪郭がはっきりしていますね。冒頭で僕の楽器と対極的と述べましたが、吹いているうちにかなり気に入ってきました(笑)。

この楽器のコンセプトから考えて、マウスピースは息のスピードを出すタイプのマウスピースよりも、カップが浅すぎないものとの相性がいいと思います。上級者だけでなく、初心者の方でもまったく問題なく吹ける楽器だと思います。 ■

TR-106S



- ベル材質：イエロー・ブラス  
特殊2枚取り加工
- ベル口径：4.803インチ(122mm)
- 仕上げ：銀メッキ
- ボア・サイズ：0.460インチ  
(11.70mm)
- ケース付き ※マウスピース別売

問：セレクト インターナショナル  
(TEL.047-374-0792)  
<http://www.select-inter.com>